

2002.4.12 共和国・首都・平壤市万景台区域に 「善隣友好・岡山県民ブドウ園」苗木植樹完了する

経緯

2001年12月29日「善隣友好・岡山県民農場」の試験栽培を新証する為に結成した井本代表に対し、首都・平壤市から「金日成主席の90周年記念事業として、主席の生誕地・万景台区域の農場に、題目である「子供にブドウの実を食べさせたい」を実現する為に、ブドウ園建設に協力してくれ」との強い要請を受けました。



対峙

2002年1月10日、緊急役員会を開催。不審船沈没事件などから日朝国のムードは最悪であるが、国家的事業としての要請であり、最大の努力をする事を確意し、岡山駅前での御宴会をする中に、一番近い朝鮮との善隣友好と国交回復を願う方々の理解でカンパは前滿しました。

日本の一女性から「事業に感謝した」と高額なカンパ、また3つの労働団体からの多額のカンパなどに感謝しました。



事業実行

遂に実施の時が来ました。4月10日、新港から「万景号」に苗木1,001本、観下2,000足、名札や網膜、軍手、子鈴などを積み出しました。そして、12日、午前9時40分より、井本代表が、岡山県民の善隣友好の取り組みで実現した事を報告し、苗木・観下など更に、資材輸入費として40万円を農場責任者に贈呈しました。そのあと小雨が降る中、一斉に植付け作業を始めました。

畑の道端沿いには赤旗が並び、2人1組で植える人、その後水を注ぐ人、名札をつける人、監督する人、10時すぎ植付け作業が完了しました。作業者全員がビールと焼酎で植付けの完了と、立派に官つ事を念じ乾杯しました。

ここに岡山県民の良心による、共和国の国家的事業が完了しました。3年後には貴方の木に立派な実が実る事を心から念じ、ご協力に衷心から御礼申し上げます。



場内ニュース

金正日総書記閣下を約60メートルの近くで拝見、14日の90周年記念報告会場で入場から退場までの約2時間、観音殿の安に拝見しました。

全人代・常任委員会、決議委員長、及び、外文協・文委員長と、14日のレセプション会場で握手し、親しく話し、記念写真も撮りました。このご件は最高の出来事です。



会計報告

4月30日現在、カンパ額約317万円（含む手数料）、支出は、苗木・資材・蒸溜ほか、146万円、名札27万円、搬送費・運賃諸費約44万円、郵便・通関・印刷費約15万円、写真費約9万円、計281万円。

今後、報告書の印刷費、郵便費、写真代、税関・倉庫費などで約35万円が必要と思います。

お願い

ブドウの子鈴用噴霧器（中古でかまいません）を提供して下さい方を御していただき、連絡は、右記、井本丈夫までお願いします。

日本と朝鮮との友好を進める会
〒700-0023
岡山県岡山市東区
TEL.086-226-5191 FAX.086-234-6143

代表 前原謙介 井本丈夫
TEL.0869-52-0385 (FAX共通)

